

○議長（古川元規） 森 弘秋議員。

○5番（森 弘秋） 去る7月30日にロシアのカムチャツカ半島地震速報で津波情報、見てからでは間に合わない。要するに、津波を沖に見て、そこから逃げておっても駄目だというふうに言っていますね。「見てからでは間に合わない」。実に当を得た言葉です。感心しました。いつも話しますが、事故が起きてからでは間に合わない、であります。

それでは、通告してあります3点について質問します。整備をお願いいたします。

まず1番目、県道岩崎寺大石原水橋線と村道古海老江鉢木線の交差点の整備についてであります。本交差点の適切な場所に横断歩道の設置であります。

6月議会で、常任委員会で加藤議員が質問をされておりました。村では、6年度に引き続き7年度も要求をしてまいります、でした。

本県道の交通量について、少し古いですが、令和5年の同交差点の交通量の調査があります。4月21日の朝、午前5時から6時の1時間の交通量は、南方面、富山市三郷方面ですね、418台、北方面、立山町方面ですね、278台であります。

この交通量からして、同交差点は危険度が高い。横断歩道がなく、勝手に横断することは危険極まりないと言わざるを得ないと考えます。

制限速度は60キロメートルであります。まあまあ実際70か75か分かりませんけども。子どもたち、児童数は、現在は2名。今後増えることが予想されます。

転ばぬ先のつえです。先行投資です。横断歩道の整備をお願いします。

本来ならば横断歩道が既にできていても不思議ではないと考えますが、いかがですか。村長は議長に相談されていると聞き及んでおりますが、既に後手に回っていると考えます。学校では、道路を渡るときの交通安全的な指導をしている。これは教育長の話ですね。しかし、「飛び出すな、車は急に止まれない」の標語がありますね。

そこで、視点を変えて、なぜ必要か。パレットタウンは現在開発中であります。宅地予定の88.5%が売却され、生活をされております。聞きますと、4区画が建て売りとして入居者を募集、3区画が売り出し中。これは8月31日現在です。

地元、吉川氏、加藤議員と現状把握のため、上市警察署に訪問しました。時の判断は、以前から聞き及んでいることから、既に計画の中に、横断歩道は視野の中に入っているような感じがありました。前向きとは言いませんが、一応好意的でした。

ただ、上市警察署の計画では、団地向かい側、北側ですね、森崎博幸宅前に待避場所

がない、がネックとなっている。これも問題であると。村は、予測してかどうか分かりませんけども、待避場所を整備しておけばよかったですと断腸の思いのようです。

横断歩道の白線引き、歩道案内板、看板等ですね、設置などは公安委員会とも協議が必要であります。設置場所については今後も検討が必要であると考えられます。

また、歩道が交差点北側にできれば、相当狭いですね、あの交差点北側。道路の縁石、反対側へ行きますと歩道がありますが、その縁石につきましては、立山土木事務所で、歩道に必要な幅の縁石を切りましょうと。土木事務所の話では、上市警察署とかと相談しているそうですね。そういう話をしておりました。

そこで、2番目、パレットタウン、団地北側向かいの歩道の整備についてであります。

村道海老江鉢ノ木線道路改良事業に伴い、当該道路北側の一般住宅宅地を一部買収して拡幅する事業が計画されました。いかんせん議会で、なぜか凍結となりました。不思議ですよ。村は将来を見越して歩道を造っていこうじゃないかと言ったのにもかかわらず、議会で凍結になったと。本当に不思議です。普通こういうことは、私は考えられないですね。

しかるに、同交差点に横断歩道を設置するに当たり、同步道が必要と考え、再度整備のための予算措置をお願いするものであります。

先ほども言いましたが、同タウンは今や26区画のうち23住宅が建ち並んでおります。いずれ宅地が完売し住宅が建築されることを考えれば、必要なことは火を見るより明らかであります。

事業の先行投資が考えられなかったのか。先見の明がなかったですね。当時、歩道の整備について、先行投資を実施しておけば、こんなことを言う必要がなかった。残念であります。もっとスムーズに横断歩道の整備の話が進んだとも考えられます。

3番目に、パレットタウン東側側溝の暗渠、頭の中で想像してもらったりいいですね、に係る整備についてであります。

パレットタウン東側側溝の一部には、連絡通路として、暗渠として通路となっていますが、隣接する住宅、聞くところによりますと、東側一部が開渠となっております。非常に危険であります。人身事故あれ、交通事故あれ、危険極まりないことは明白であります。

ただこれは、本道路は県道でありますので、村で工事をしようと思っても難しい。そこで、ここからは、村から県に改良をお願いし、早急に整備をお願いします。すぐに要

望を県に提出してください。

先日、土木とちょっとあそこ、現場を見ておったんですが、まあ言わることは分かること。いずれにしても、村の要望が必要であると言っておりましたので、よろしくお願ひしたいと。

そこで、1つネックになるのは、当該用水が道路を横断するときに曲がっておる……。側溝自身が道路を横断するときに曲がっておるんですね。曲がっておるちゃ、変ですか。そしたら、地元民に言わせると、ここにごみがたまると。ごみがたまつて大変と不評です。

したがって、この用水をまず直線にする。直線にしてごみが流れやすいようにする。これも県の仕事ですから、暗渠と一緒に、用水を真っすぐにするということになります。

今ほど言いましたように、先日も県に話しましたが、安全面に関しては、暗渠については一応納得といいますか、話は分かったというような感じでした。

いずれの問題も同時進行で進めなければならんというふうに思います。向かい側の歩道ですね。それから、暗渠用水。それができてから横断歩道ですかね。

だから、ひとつ村の考え方、どうするかということ、方針、いかにすること。俗に言う「検討します」では、もう遅いです。パレットタウンはもう建物が建って、子どもがぽつぽつ生まれてくる。そうすると、用水に落ちたり、交通事故が起きたりする。事故が起きてからでは遅いです。遅いことは明白であります。

いつも言いますが、全ては村民の幸福度の向上のために。全ては村民の幸福度の向上のために。

これで終わります。

○議長（古川元規） 田中住民生活課長。

○住民生活課長（田中 勝） 5番森議員の質問にお答えいたします。

初めに、県道と村道が交差する交差点部分は、上位道路である県道が管理する事例が多いと伺っております。

1番目について、議員ご指摘のとおり、県道岩崎寺大石原水橋線と古海老江鉢ノ木線の交差点部分は交通量が多く、歩行者目線で捉えると大変危険な道路と認識しております。東芦原のパレットタウンにも住宅が立ち並び、小学校へ通う児童をお持ちの家庭も増えてきました。

昨年10月に村教育委員会主催の通学路安全推進会議でも議題として挙がり、参加者

の育成会、上市警察署、立山土木事務所の職員及び村職員が危険性の面で共通認識を図ったところでございます。横断歩道を設置するには村単独で設置することはできないため、昨年に引き続き、本年7月23日に上市警察署に要望書を届けてきました。

2番目については、パレットタウン団地北側の森崎宅側から東西への歩道設置の要望だと認識しております。これについては、パレットタウン建設時に村議会に対し村道拡幅要望を提案して認められなかった経緯もございますので、横断歩道を設置された次の段階で検討してまいります。

3番目については、道路側溝を用水と兼用している事例であります。県道建設時に地元農家の要望を聞き、蓋なしの状態である開渠になっていると思われます。

暗渠化については、用水管理者である地元生産組合の了解が得られるのであれば、道路管理者である立山土木に要望していきたいと考えております。そのときに、同じく東芦原地区の地元要望である交差点西側の用水直線化も併せて県に要望してまいります。

村管理でない県道という縛りがあり、また規制標識を伴うものは警察に要望として届けなければならず、遅々として進まない現状にいら立ちを募らせるのは、議員さんだけなく、村当局も同じであることをお伝えして答弁とさせていただきます。

○議長（古川元規） 森 弘秋議員。

○5番（森 弘秋） 今ほどの答弁を聞き、ありがたい面、え、何でやという感じもありますね。

まず、1つ目です。用水暗渠の関係ですね。

確かに、生産組合、地元の住宅ですか。これ、行政の仕事でしょう。それをどんどん行政側から働きかけて、いや、こんなこともしたい、ああしてくださいと。ですから、討論会か議論か知りませんが、話しかけて、いやどうですかというのが……。何か人ごとのような答弁でしたね。

上市警察署、7月23日と聞きましたけども、私たちは6月に行っておるんですよ。そのときに、交通何とか課長かな、課長代理か、話を聞いたら、先ほども言いましたけども、これは認識しておる。村からの要望は上がっておる。もう相当数検討されているような感じでしたよ。村は何を言っておるんですかね。

そこら辺はもう少しかみ碎いて話をして、なら、どうするかということをやっていかないと。いろんな推進会議も大事ですけどもね。どうですかね、今の答弁を聞きました。

教育長に聞きましたよ。横断歩道はどうなっているんですかと。たくさん要望があっ

て、まだまだ順番が回ってこないと言うておる。それでいいんですかね。回ってこんからほっぱっておくんでは、回ってこなくとも、何とかならないかというのが行政側の立場でしょうが。

私は、こう言いました。ならば、100万ぐらいであれば、あるいは50万でもいいですけど、ちょっと飛び越えていきやどうやと。ちょっと割り込んでいきやどうやと話したら、そんなこと、できないと。できんのは分かっていますよ。できんのは分かっておるんですが、そうではなくて、何とかならんかと。

そういうふうにして、行政サイドから話していくのが、私は筋でなかろうかと。そういうことを言っておったら、永遠に夢ですよ。成りませんよ。

やっぱり要望とか要求というのは、どんどん攻めていって、攻めていって、攻めていって成るもんですよ。まあ、上から降ってくる場合もありますね。してあげましょうという場合もありますけどもね。

兵法では「外堀から埋める」という言葉がありますね。先ほど言いましたように、ここは、周りから埋めましょう。

答弁の中に、向かい側の森崎さんのところの歩道について、横断歩道ができるから造りましょうと。反対でしょうが。

私たちは、用水もよくしました。ついては、懸案になっておる歩道も造りました。だから、どうですかと。だから、警察署長さんよ、歩道を早くしてくれと。どちらが正しいか分かりませんが、そういうものでしょう。

要するに、外堀から埋める。周りから整備していきましょうというのが一つの戦略ではなかろうかと思うんですが、どうなんですかね。

ですから、早いこと条件整備をして横断歩道ができるようにしてやる。要するに、横断歩道というのは簡単にできないんですよ。過去に私も経験しましたから。そんな簡単には成るもんじゃないですよ。

新たに横断歩道をつくってください。あ、そうですか。いや、つくりましょう。そんなふうに言っておったら、世の中、何も心配は要らん。そこをどうしてやるかというのは行政サイドだというふうに思いますか、どうでしょうかね。村が、要するに村民の安全・安心のために、どうするかということです。

何せ横断歩道ができるから、あちこち、あちこちは逆だと私は思います。何とか、まず最初に土木事務所に、開渠を暗渠用水にします。用水も真っすぐにする。そういうふ

うに外堀から埋めていく。

こういったことを考えながら、高いところ、高所から村長は眺めて、どう思われますか。お願いします。

○議長（古川元規） 渡辺村長。

○村長（渡辺 光） 今ほどの森議員の追加質問に答弁をさせていただきます。

まずはどこからお話しさせていただきましょうか。暗渠の件からにしましょうか。

県道で折れ曲がっている暗渠の件につきましては、先ほど田中課長が答弁されたように、今開渠になっている部分の暗渠化に伴って、同時に県には要望を出したいというふうに今現在考えております。

その前段として、現在開渠になっている当局側の認識を少しお話しさせていただきたいと思います。

これは私当時、当事者ではなかったので、あくまでも伝聞なので、少し間違った部分もあるうかとは思いますが、今私の認識をお伝えさせていただきたいと思いますが、パレットタウンが整備される当初、事業者様より、今開渠になっている部分は暗渠でという計画を聞いておったというふうに聞いております。

しかしながら、地元生産組合の了解が得られなかつたので、現在のとおり開渠になつておるというふうに、当局、私としては認識を持っております。すなわち、地元の農業者、主に農業者、地元のみならず、下流域に及ぶ農業者の皆様の了解が現時点では得られていないため開渠になっているというところが現在の認識であります。これは開渠部を暗渠にする際の一つ解決しなければならない問題、課題であろうかというふうに思っております。

そして、続いて横断歩道につきましては、先般より私は横断歩道の必要性は認識しております。しかしながら、議論の中で、北側がいい、南側がいいというお話、幾らかの方から聞く中で、北側がいいと言われる方、南側がいいと言われる方、多分4方向につくことがベストではあるとは思うんですが、これはどっちがつけばいいのかという部分において、なかなか情報が統一されていないというか、当局側への要望としては一本化されていないように、私としては受け止めております。

私はそう思ったので、先々週、パレットタウンの団地に足を運びまして、一軒一軒インターネットホンを鳴らして、地域の住民の皆様はどのように考えているかということをお伺いしてまいりました。

時間が夕方前だったので、ご自宅にいらっしゃる方は5軒しかいなかつたので、その5軒のお宅しかお声を頂戴することはできなかつたのですが、簡単に言うと、北側が2軒、南側が2軒、どちらかも判断ができないというのが1軒ありました。

踏まえて、じゃどちら側につけるのかという判断ですが、これは村当局としては判断はできないというのは、ご承知のとおりかと思います。

先行投資というお話なんですが、全てがそうだというふうには言わないんすけれども、じゃ村側が、横断歩道が北側にできるという前提で用地を購入した後に、南側しかつかなかつたという結果になつた場合は、その北側は正直ちょっと村のお金を使つてしまつたという結果にもなり得るのかなと思います。その逆パターンもあると思います。

暗渠にするという、南側につく前提で暗渠を先行してしまつたとして北側についたとき、じゃその暗渠は果たして大きな意味があつたのだろうかと。

もちろん安全面を向上する点においては、開渠よりも暗渠のほうが好ましいと思いますが、その部分について地域の農業者の方がどういった判断をされるかはちょっと分かりかねるところではあります。

ですので、先日も少しお話しさせていただいたんですが、私はこの件に関しては、公安委員会さんが歩道をつけていただくことにはおおむね前向きだろうという認識は持っております。

踏まえて、それがどこにつくのかという判断をもつてして、速やかにこの件は対応を図りたいというふうに考えております。

森議員がご指摘をされたとおり、北側につきますよというお話であれば、待避所を造ることはもちろん必須であろうかと思いますし、南側に造るのであれば、もちろん開渠部を暗渠化する必要も出てくると思います。

ですので、何でもかんでも先行投資して周りを固めればいいというのは、もちろん理想論としては正しいのかもしれないですが、公費を預かる立場として、やみくもにその方針で判断、決定をすることはなかなか難しいものがあるのかなというふうに現在考えております。

以上で私からの答弁とさせていただきます。ご理解のほど、よろしくお願ひします。

○議長（古川元規） 森 弘秋議員。

○5番（森 弘秋） 暗渠の話、これ、生産組合云々というのは私も聞いております。当

時、あそこを暗渠にしてしまうと、やっぱり水が流れが悪くなるということがありました。

ただ、道路をまたがって折れ曲がっておる。あそこを初めから暗渠にしておけば、あそこを真っすぐにすれば、そんなひどいことはないだろうと。

そこら辺りは、先ほど言いましたけども、生産組合と。要するに、行政サイドとして全体の奉仕者、全体を見たときにどうするかというのが必要でなかろうかなというふうに思います。

それから次に、北側につける、南側につける。当初は、地元の方、来ておいでますけども、私もやっぱり交差点の南側が妥当だろうと思ったんですが、今、いかんせんといいますか、6月9日に上市警察署へ行って話をしましたら、瞬間的にだけ見せます。こういう図面がもうできてるんですよ。

これは何かといいますと、北側につける図面。だから、村が最初に要望したときに、警察と村かどうか知りませんけども、なら、どこがよかろうかということで、恐らく公安委員会、警察なりが、このほうがいいんじゃないかなと思ったんだと思います。

なぜかといいますと、道路を渡りますと、反対側にもう既に歩道ができるおるんですね、真っすぐ。北側にですね。多分あそこを通ればいいと。

ところが、あそこは暗い。暗ければ電気をつけりゃいいんでしょう。田んぼがあって危ないと。ガードレールをつければいい。要するに、いかにしてこの後舟橋を担う子どもたちを守るか。原点が違うんですよ、だから。そこら辺をどうしたらいいかということを、これは行政サイドが考えにゃならん。

先行投資を言いましたけど、必ずしも先行投資が正しいとは言わない。当たり前ですよ。ただ、今の場合は、要するに周りから攻める。言いましたけど、横断歩道なんて簡単にできないんですよ、はっきり言って。横断歩道をつくれば、やがて信号も一緒になるかもしれません。いろんな施設、設備が必要になるんですよ。

だけども、やる方法としては、あそこの場合は、もっと言うならば、2年、3年前にあそこに歩道をつけましょうと言ったのは、誰が発案したんですかね。村でしょう。行政側が言ったんですよ。それを議会が反対したから、あ、そうですか。下がりましょうと。

そんなもんじゃないでしょう。恐らく相当数、2年、3年、4年、5年後のことを考えながら提案したと思います。

だから、今のうち……。どうなんですか、分かりませんけど。村長の答弁も、まあそう……。そこまで終わったから、私はこれ以上言いませんが。

いずれにしても、四、五年後を考えたときに、あそこに26軒建っています。そこに若い夫婦が来ております。当然そこは人口増から考えりゃいい。要するに、地方創生ですね、考えれば、人口が増える。子どもが増える。だから、横断歩道をつくる。歩いて向こうへ渡る。安心、そうすれば信号もつけなきゃならんかもしれません。

私はいつも思っているのは、あそこ、ネックになるのがもう一つ。例えば、北側に横断歩道をつけました。横断歩道をつけて、そこからどこへ行くかと。何か学校のほうでは、集落の中で通学道路というふうに指定されておるそうですが、そこまで行くがに100メーターもないですかね。あそこは全く、歩道も何もない。そうすれば、横断歩道が北側にできれば、その後どうするかを考えるのが、私は行政だと。よろしくお願ひします。